



いわいずみ



P2 特集 平成 28 年台風第 10 号豪雨災害 県復旧事業完成

P 6 賑わいを創出し地域振興に繋ぐ

P 8 決算審査ここをチェック

ぴーちゃんねっと令和9年度未終了

P 12 町の考えを問う(8議員が一般質問)

シリーズ キラッと光る人 ⑫

外国人観光客の快適な観光をサポートするため
通訳ボランティア活動を行っている「Agents of
Dragon Blue」の皆さん。(左から、相沢結衣さん、
かなざわりん、金澤凜さん、三上さやさん、畠山拳斗さん、金澤清
乃さん、東野奏佑さん)

代表の下道久美さんは「みんなで成長しながら笑
顔でサポートしていきたい。」と語ってくれました。

今後の活躍が期待されます。

平成28年台風第10号豪雨災害

県復旧事業完成

災害に強い町へ、新たな一歩

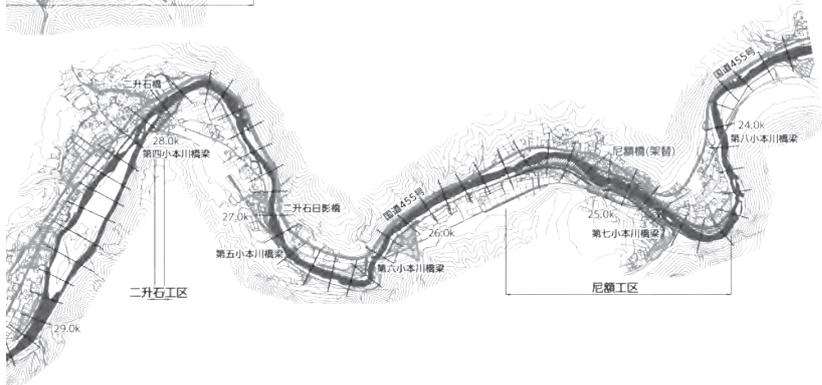
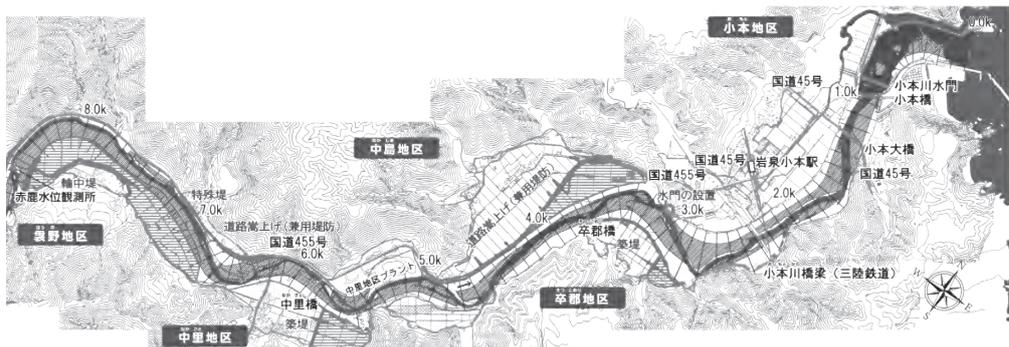
本町に大きな被害をもたらした平成28年台風第10号災害から9年。長期間にわたる県の災害復旧事業が本年をもってついに完成を迎えました。

近年、台風や集中豪雨など異常気象による自然災害が全国各地で発生し、尊い命や財産などが失われています。本町でも、一昨年8月の大雨、昨年8月の台風第5号と2年連続で被害が発生しています。町議会では、今後も台風10号災害後に町が整備してきた防災士等の人材育成や情報伝達の仕組みづくり、そして被害を最小限に抑えるための道路や堤防などの施設整備について検証し総合的な防災対策を考えてまいります。

改めて、復旧事業にご尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

みなんで力を合わせ、未来へ向かって進んでいきましょう。

大規模復旧事業



事業区間総延長48,900mに及ぶ

○道路事業

事業名	路線名・箇所名	事業費(億円)
災害復旧事業	一般国道455号ほか 三田貝ほか140箇所	58.3
地域連携道路整備事業	一般国道455号 乙茂 4.8km	37.4
地域連携道路整備事業	一般県道普代小屋瀬線 松林 2.7km	2.5
	事業費計	98.2



○河川事業

事業名	河川名・箇所名	事業費(億円)
災害復旧事業	二級河川小本川ほか 林の下ほか40箇所	44.7
災害復旧助成事業	二級河川小本川 (門～尼額) 22.8km	114.9
河川激甚災害対策特別緊急事業	二級河川小本川 (岩泉～小本) 24.1km 二級河川清水川 (沢廻～岩泉) 2.0km	262.5
災害関連事業	二級河川安家川 (安家橋上流) 0.5km	5.3
河川災害復旧等関連緊急事業	二級河川安家川 (安家橋～新橋) 2.2km	62.0
	事業費計	489.4

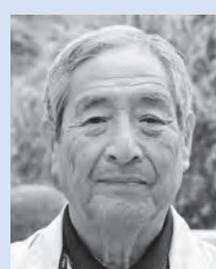


○砂防事業

事業名	溪流名	事業費(億円)
災害関連緊急砂防事業	伏屋の沢ほか10箇所	30.2
砂防激甚災害対策特別緊急事業	木銅口の沢ほか13箇所	74.9
	事業費計	105.1

総事業費	692.7
------	-------

ますの声



竹花 敏明さん
(元小本地域振興協議会長・80歳)

ソフト面の防災対策も
発災時、経験したことの無い河川の増水には驚きました。災害に強い河川・道路に整備されましたが、情報伝達や自助・共助を含めソフト面での防災対策も重要な課題だと思います。

ますの声



佐々木 章子さん
(岩泉・83歳)

助け合う気持ちで
夜が明けて見た町は、丸太やクルマが転がり家の中まで泥だらけでした。たくさんの方々、ボランティアさんのおかげでここまで来ました。自分ひとりでは何もできません、親切が身に沁みました。他で災害があったら、自分たちもお手伝いしたい気持ちでほんの少しですが募金をしています。

ますの声

地域の防災一翼を担う
想像を超える河川増水の中、地域住民の安否確認を団員総出で行ったのが記憶に残っています。地域の防災活動の一翼を担う消防団として、頻発する災害に対応してまいります。



三浦 勇次郎さん
(第4分団長・63歳)



物価高騰の影響に 支援

観光需要の回復に期待

定例会の あらまし

7年第3回定例会は、9月4日から12日までの9日間の会期で開きました。
4日と5日には、一般質問が行われ8人の議員が登壇しました(質問の内容などは12ページから16ページまで)。
福祉サービス事業者への物価高騰支援や介護事業における人材確保の支援などの緊急を要する補正予算や小川地区複合施設の備品購入など、全ての議案を全会一致で可決しました。

物価高に対する支援

一般会計補正予算第3号は、福祉サービス事業者や介護事業者、宿泊事業者への物価高騰対策支援、いわいずみ短角牛ブランド化推進事業など、補正額は5億8455万円になりました。

そのほか、令和6年度岩泉町の財政の健全化判断比率及び資金不足比率と令和6年度教育委員会事務局点検評価報告書の2件の報告がありました。会期中に追加で2件の専決処分(※)の報告があり2件とも承認しました。

おしえてぴーちゃん



(※) 専決処分とは

議決が必要な事柄について、自治体の長が議会に代わって意思決定を行うことです。これには、災害復旧など緊急で議案を招集する時間がない場合と、あらかじめ議会の議決で指定(委任)された場合の2種類があります。

宿泊事業者への 物価高対策支援

近年の物価高騰による観光客減少の影響を緩和するため、宿泊施設を中心に観光需要の回復を図り、宿泊事業者を支援するとともに、町内経済の活性化を図るのが狙いです。

「町内商品券付き宿泊プラン」を提供する宿泊事業者に、個人宿泊客一人当たり1千円を助成する内容です。

地域介護確保対策 事業の内容

◆事業の概要

介護事業の人材確保の課題に対応するため支援を行う。

◆支援の対象

町内の居宅介護支援事業所及び訪問介護事業所に所属する介護支援専門員及び訪問ヘルパーの費用に対して基準により補助する。

◆補助基準額

①介護支援専門員
月額4万2千円

②訪問ヘルパー
月額1万5千円

◆事業費

500万円



小川地区複合施設の整備。着々と進行しています。

小川地区複合施設 初度備品を購入

987万円

契約の相手方

有限会社北岩手教材社

小川地区複合施設は、来春の開所を目指し工事が進められています。施設内部の準備も進められており、本定例会に備品購入の議案が提案されました。支所事務室やロビー、図書コーナー、診療所、児童クラブなど複合施設の機能ごとに必要な机や椅子、書庫などをまとめて購入するものです。

消防ポンプ自動車を購入

(岩泉町消防団 第4分団第4部1班 裯綿)

3168万円

契約の相手方

互光商事株式会社 (矢巾町)

岩泉町消防団第4分団第4部1班(裯綿)の消防ポンプ自動車は、平成12年2月に配置されました。25年を超える年月を消防団と地域の安全を守るため、共に歩みました。新しい車両にバトンタッチします。



平成12年2月に配置された車両。長年に渡り活躍しました。



児童生徒の学校給食を支えます。

ガススチーム コンベクションオーブンを購入 (学校給食共同調理場)

660万円

契約の相手方

三機商事株式会社 (盛岡市)

ガススチームコンベクションオーブンは、蒸気(スチーム)と熱風(コンベクション)を組み合わせて調理する業務用調理機器です。この2つの機能を独立して、または組み合わせることで、焼く、蒸す、煮る、炒める、揚げるなど、様々な調理法に対応できます。児童生徒の学校給食を支えるとても重要な機器です。

6年度決算 賑わいを創出し 地域振興に繋ぐ

令和6年度の決算審査では、一般会計・6特別会計と水道事業会計・下水道事業会計の総額156億円の決算を慎重に審議。全て全会一致で原案のとおり認定しました。【関連8～9ページ】

一般会計117億円の 歳出決算を認定

前年度比
8.1%増

6年度一般会計の歳出決算額は117億4576万円で、前年度比8億8212万円（8・1%）の増となりました。

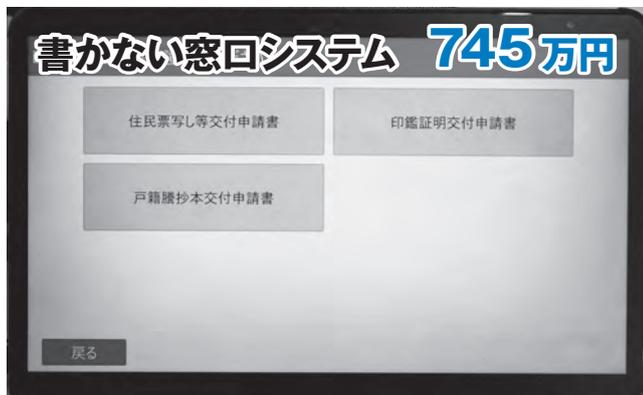
増加の主な要因は、
商工費が6億1457万円（245・1%）増加したためです。
ふれあいランド岩泉の再整備により賑わいの創出や地域振興に繋

げることを目指します。

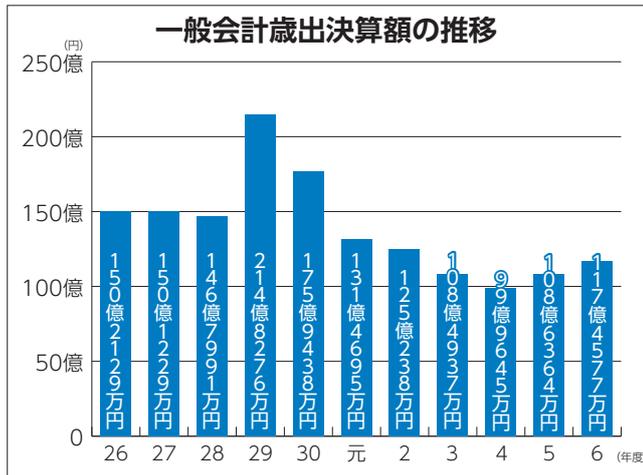
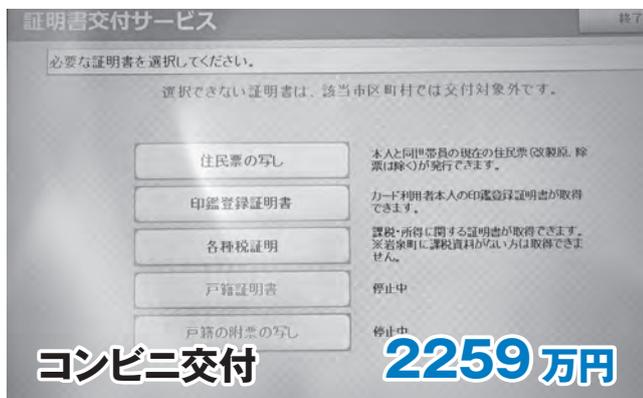
3本の無償化（保育料、医療費、給食費）を軸に町全体で子育てを支援し、「書かない窓口」「各種証明書のコンビニ交付」の導入

により、窓口の負担軽減と利便性が向上を目指しました。

ここでは、決算の状況と主な事業をお知らせします。



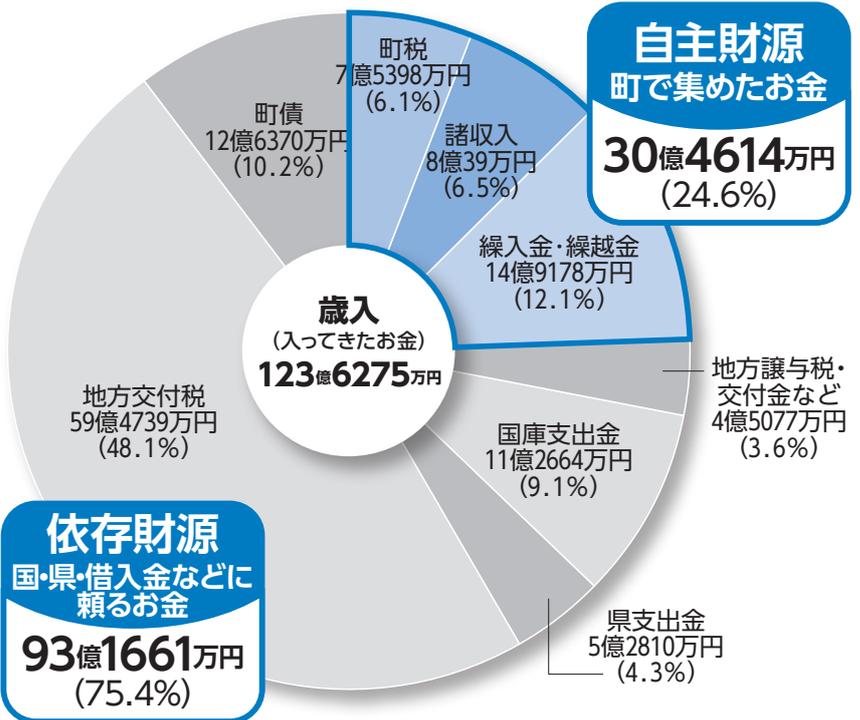
6年度決算の詳細は町のHPから



6年度 各会計の決算額

会計名	歳入	歳出	
一般会計	123億6275万円	117億4577万円	
特別会計	国民健康事業勘定	10億8028万円	10億5607万円
	保険診療施設勘定	3992万円	3631万円
	後期高齢者医療	1億4031万円	1億3914万円
	介護保険事業勘定	15億6042万円	14億7616万円
	サービス事業勘定	1215万円	1115万円
	観光事業	2億0169万円	1億9324万円
企業	大川財産区	371万円	360万円
	水道事業	3億8527万円	4億1116万円
	事業会計	1億7344万円	2億5382万円
	下水道事業	1億5527万円	1億5941万円
合計	162億8425万円	156億3721万円	

一般会計決算の内訳



堅実な財産運営を評価



箱石憲市
代表監査委員

～決算審査意見～

9月4日の本会議で報告された決算審査意見の内容を要約してお伝えします。

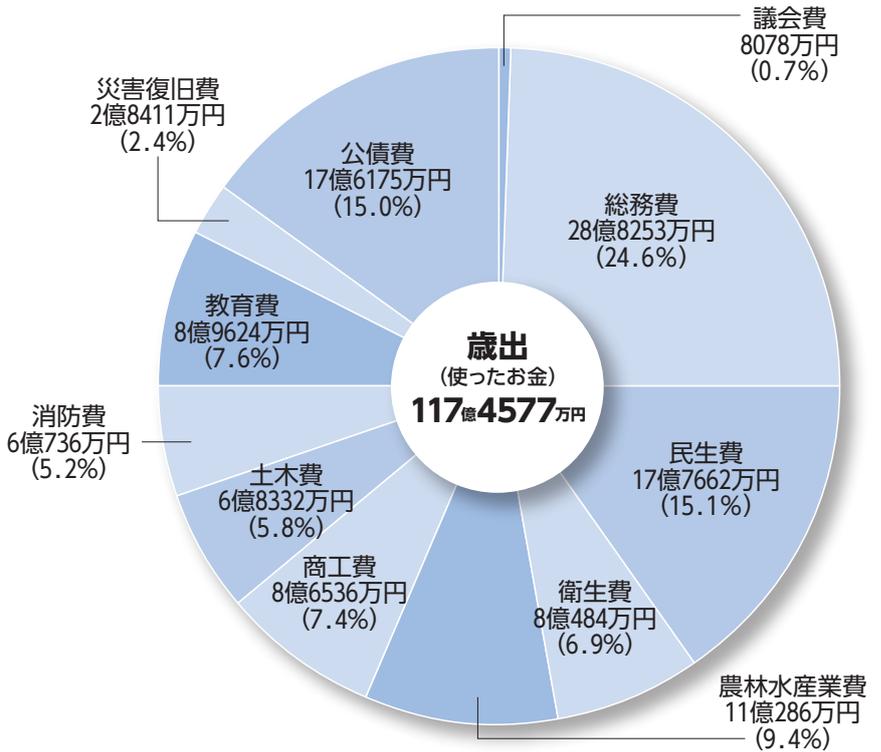
一般会計・特別会計

厳しい財政環境の中、実質公債費比率(※)は減少し、町債現在高も減少となり、主要基金の保有額は、昨年度末現在高から増加しており、堅実な財政運営は評価する。

今後は、人口減少や物価高騰などの社会情勢により、厳しい財政状況が続くものと予測。将来にわたり安定した行政サービスを提供するために基礎的財政収支の黒字化を堅持し、持続可能な行財政運営に努められたい。

水道・下水道事業会計

人口減少による料金収入の減少、施設の老朽化の修繕や更新、燃料費の高騰など今後の経営環境はより厳しさを増すと考えられる。経営戦略などの計画を着実に実行し、長期的な経営の安定を図られたい。



【衛生費】 集団検診やごみ処理などの経費
 【農林水産業費】 農林水産業の振興や農道・林道の整備、漁港整備などの経費
 【商工費】 商工業の振興や観光開発の経費
 【土木費】 町道や河川整備などの経費
 【教育費】 学校教育や社会教育などの経費
 【公債費】 事業を行うときに借りたお金の返済金

◆ 財政用語 ◆
 【地方交付税】 町の財政力に応じて国から交付されるお金
 【国庫・県支出金】 町が行う事業に対して国・県から補助されるお金
 【町債】 事業の財源に充てるため国などから借りたお金
 【地方譲与税】 国税である自動車重量税などが一定の割合で町に交付されるお金
 【繰入金】 積立金から取り崩したお金
 【諸収入】 延滞金、預金利子などのお金
 【総務費】 一般的な事務経費や財産管理などの経費
 【民生費】 高齢者や児童など社会福祉のための経費
 【衛生費】 集団検診やごみ処理などの経費
 【農林水産業費】 農林水産業の振興や農道・林道の整備、漁港整備などの経費
 【商工費】 商工業の振興や観光開発の経費
 【土木費】 町道や河川整備などの経費
 【教育費】 学校教育や社会教育などの経費
 【公債費】 事業を行うときに借りたお金の返済金



(※) 一般財源に対する公債費(借金)の比率。18%を超えると借り入れに国の許可が必要

決算審査



ぴーちゃんねっと 令和9年度末終了

決算審査特別委員会（三田地泰正委員長）は9月10日から12日までの3日間、一般会計と5特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の6年度決算を審査しました。

ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

情報 切り替えまでに検討 IP告知の終了不便

問 公式LINEアカウント運用ツール構築委託料の内容と来年度の費用は。

答 町では6年度から公式LINE用のシステムを運用している。システム構築の費用で今後は発生しない。

問 高齢者やスマートフォンを使えない人はぴーちゃんねっとが終了すると不便を感じるのでは。

答 9年度末の終了までに別なシステムが良いか、全く違うものが良いか今後検討を進める。

皆さんの暮らしに役立つ情報が配信されています。イベント情報、道路情報、熊や猿などの出没情報も受け取ることができます。町公式LINEの友だち登録は、こちらから。



町公式LINE

まずの声



ぴーちゃんの廃止 似内 佐吉さん
高齢化を考慮して (尼額・77歳)
高齢化と過疎化の中で、皆がスマホを持っているわけではない。「ぴーちゃんねっと」は音声でも教えてくれる。また電話料も無料。切り替えるときはこれらも考えて欲しい。

企画 町民アイデアの展望は 支援を見直し強化する



町民目線の新しい視点の取り組みが期待されます。

問 6年度の事業実績と7年度の採択状況は。

答 6年度の支援事業採択が4件で、うち1軒が事業中止となり、3件が実施された。7年度は応募10件となっている。

答 いただいた意見は、より早い段階で取り組めるようスケジュールの検討を進めてまいります。

問 制度が浸透している。今後の支援の展望は。

問 この事業について、早期に始めたという声が聞かれる。スケジュールを見直し採択を早める考えはないか。

答 町民の皆さんが主体的にまちおこしの事業を計画している。今後も見直しを図り、強化した支援を継続する。

害 生息数捉えているか 獣 県の調査結果で把握

問 岩手県と岩泉町の熊の生息数をどのように捉えているか。

答 県では数年に1回の頭数調査、生息数調査を行い、ある程度把握されている。この調査には、居住地付近の調査は行われていないことから、それらも含んで実施して欲しいと県への要望を行っている。

問 奥羽山系では春先に狩猟を行っている。北上山地でもやるべきと思うがどうか。

答 猟期の設定が必要になる。いずれにしても県が行う調査で個体数の総数をきちんと把握する必要があるので。そういった部分を含め県に対して要望を続けてまいりたい。

まずの声



関係機関で体制づくり 金澤 誠さん (浅内・38歳)

熊が里に降りてこないための対策が必要。緊急銃猟について警察・役場・猟友会の話し合いを持ち、どのようにして緊急時の体制づくりをするか話し合いが必要と考えます。

有害鳥獣捕獲頭数の推移(4~8月末の比較)

区分	令和6年	令和7年
ツキノワグマ	39	57
ニホンジカ	584	699
イノシシ	15	24
カワウ	48	37

民俗 資料館の入館者の推移は 昨年度1842人の入館



入館者数増の施策が課題

問 資料館の移転により、以前の場所と比べ入館者数はどのようになっているか。

答 4年度498人、5年度に移転し、6年度が1842人で大幅に増加した。7年度は現時点で6割に留まっている。

問 今後、入館者数を増やしていくためにどういった戦略的なことを考えているか。

答 初年度は、話題性もあり入館いただけ

まずの声



母校が閉校し資料館で存続 上館長十郎さん (小川・75歳)

母校が閉校し寂しいかぎりですが、資料館として存続しています。何らかの形で残っているのはうれしく思います。

いた。イベントや企画展など、常に話題性や情報発信を意識し、来館者の増に務める。

総括質疑

総括質疑とは、審査する案件全般に対して行うもの。総括質疑を要約してお伝えします。



伊和 和英 委員

し、未来の町の姿実現に向け邁進することを約束する。長きにわたり、感謝申し上げます。



中居 健一 町長

島山委員 中居町長は2期8年、東日本大震災と平成28年台風第10号豪雨災害という未曾有の災害の復旧・復興の先頭に立ち尽力された。町長のリーダーシップがなければ今の町の姿はなかった。

この8年間は復旧・復興が最優先で、本来取り組みたい将来的な施策を我慢せざるを得なかったであろう悔しさも共有している。しかし町長が築いた復興の道のりは未来への確かな礎だ。町長の政治手腕を高く評価しており、あと1期続投して欲しい。残念だ。私も町長から引き継いだバトンを大切に

町長 台風10号災害から町を再生するため、2期8年で復旧・復興を成し遂げ次の時代にバトンを渡すとの決意で多くの皆さまの支援をいただきながら成し遂げることができた。感謝を申し上げます。

この8年間「安全・安心」と「持続可能なまちづくり」をテーマに、特に道路整備に注力してきた。皆さまの心温まるこれまでのご支援、ご協力に対して心から御礼を申し上げます。残り任期も頑張っ



短角牛の魅力動画を発信

条例補正予算審査特別委員会（林崎寛次郎委員長）は9月8日、付託された条例4件、補正予算5件を審査。全ての議案を可決すべきものと決定。同日の本会議において全会一致で可決しました。

いわいずみ短角牛ブランド化推進事業や物価高騰に対応した事業者支援などの新規事業に対する質疑がありました。

ここでは、特別委員会の審査の中から、いくつかの内容を要約してお伝えします。

畜産 短角牛ブランド化事業の内容 動画作成し販促ツールとする

問 事業の詳細な内容について説明を求めらる。

答 地域資源である短角牛の生産振興と流通活性化のため、生産のブランド化の取り組みに支援する事業で、経費の一部を補助するものである。具体的には、子牛の出産から放牧、肥育までの動画を作成し、販促ツールとするもの。

問 動画の放映場所やターゲットについて、動画配信サイトでの公開の確認は。

答 イベント会場などで広く流すことを想定している。

問 ターゲットが狭い。動画配信サイトなど利用すべき。

答 提案について、実施団体と協議し、良い方向に進める。

ますの声

道の駅いわいずみ 中村 和彦さん
24時間自動販売機 （岩泉・43歳）

いわいずみ道の駅に24時間いつでも購入できる販売機が置かれて大好評です。私ももう3回ほど食べましたが、柔らかくてとっても美味しかったです。



大自然のなかで、のびのびと。

産 龍泉洞の水を核に 業 再ブランド化図る



岩泉町が誇る名水「龍泉洞の水」

問 龍泉洞の水には公益性があると理解する。シテイプロモーションの核に据えるべきものの一つと考える。以前、魅力や価値が明確に言語化されておらず答えることができなかった経験がある。水の成分分析や効用、さらには「一口で3年長生きする」といった言説の根拠調査などを通じて、龍泉洞の水の価値を再調査し再ブランド化すべき。

答 全面的に同意する。販売数が当時930万本から現在200万本になった原因は、大手との競争や薄利多売などが原因と認識しているが、分析は必要と思っている。

問 岩泉ホールディングスの経営状況が良く、自前に更新工事ができる経営体力はあると認識しているが、町の指定寄附を活用する理由は。

答 会社自体は順調だが、龍泉洞の水の製造販売は赤字であり、売上の減少に加え、老朽化した非効率な機器の使用や人件費などが経営を圧迫していた。このため、大規模な設備投資が困難な状況であった。しかし、龍泉洞の水の販売は必要というみなさんの思いがあったことから、町として考えるという結論に至った。

まのすの声



日本一世界一 龍泉洞の水
新村みち子さん (岩泉)

日本一、世界一のミネラルウォーターです。デザインなど刷新し、たくさん売れることを願っています。

医療 コロナ予防接種は推進か 必要な接種の機会を作る

問 町ではコロナの予防接種は推進していく考えか？

問 コロナの予防接種のリスクについてはどの程度の認識か。

答 コロナの予防接種は定期予防接種(※)化された。インフルエンザと同じような位置付けになったので、必要があると思われる人への接種の機会を作っていく。

答 厚生労働省の専門審査会等々の公開情報しか把握できないのが現状である。健康被害が生じた場合は、国の予防接種健康被害審査で補償金等々の対応がなされる。

社 物価高騰その影響は 前から厳しく負担増

問 福祉サービス事業所への物価高騰対策支援事業について、事業所は物価高騰の影響をどの程度受け、この支援によってどの程度緩和されるとみているか。

料などの負担増により赤字的な状況で、支援をしても依然厳しい状況である。事業所の撤退を避けるため支援を決めた。支援内容は以前の物価高騰時の国県の補填実績を参考に、現状の燃料費や光熱水費のさらなる高騰を加味して判断した。

答 詳細な影響は把握していないが、燃

問 物価高騰の影響をしっかりと分析し、経営状況の収支に合わせ、この支援で事業所が乗り越えられるのか判断すべき。

答 事業所の収支状況は把握しかねている。今回の支援は事業全体の収支ではなく、物価高騰の燃料費や光熱水費の部分への支援として組み立てたものである。ご理解いただきたい。

まのすの声



感染防ぐ努力 副作用も理解
佐々木雅紀さん (岩泉・50歳)

ワクチンへの知見は持ちつつも、接種は受けれる時には接種をしましたが、コロナやワクチンに対して危険視は特にありません。

(※) 予防接種には、法律に基づいて町が主体となって実施する「定期接種」と、希望者が各自で受ける「任意接種」があります。

8人の議員が登壇



町の考えを問う



一般質問全文は、町ホームページで公開しています。
スマートフォンはこちらから。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。9月定例会では、8人の議員が登壇し、町政課題への提言や質問を行いました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容（13ページから16ページ）を登壇順（質問順）にお知らせします。

ほろち てるお 袈地 照夫 議員 (13ページ) ●任意水道組合への支援は

*その他の質問

・断水時における給水車などの緊急体制について ・閉校校舎の安全管理体制について

きくち たかひろ 菊池 孝広 議員 (13ページ) ●農作物の獣害対策は

*その他の質問

・行政連絡区の見直しについて ・町村合併七十周年記念事業について

さとう やすみ 佐藤 安美 議員 (14ページ) ●管理道路の安全対策を

*その他の質問

・猛暑による家畜粗飼料減収対策について

ちば やすひこ 千葉 泰彦 議員 (14ページ) ●地理情報システム活用は

*その他の質問

・東日本大震災の復興支援員事業について ・岩泉町未来づくりプランの更新について

はたけやま まさのり 畠山 昌典 議員 (15ページ) ●職場環境の充実を

*その他の質問

・猛暑対策について

こまつ 小松ひとみ 議員 (15ページ) ●職員個々のアピールを

*その他の質問

・高齢者福祉について ・町民活力への支援について

はたけやま かずひで 畠山 和英 議員 (16ページ) ●町長3期目の出馬意思是

はやしぎ きょうじろう 林崎竟次郎 議員 (16ページ) ●太陽光発電設備に補助を

町長 町内の任意水道組合施設は、給水開始から50年が経過した施設もあり、全体では利用者が計画時の37%に

問 町内の水道組合は高齢化に伴う運営の担い手不足や、老朽化した施設の維持や修繕に係る費用負担などが重くのしかかっている。大牛内地区では、老朽化した浄水施設により安定した水の確保が困難となり、酪農や住民生活基盤が成り立たない状態となりかねない。町として今後のビジョンと支援策を問う。



老朽化した施設の維持管理が重くのしかかる

問 任意水道組合への支援は 答 多角的に調査し検討する

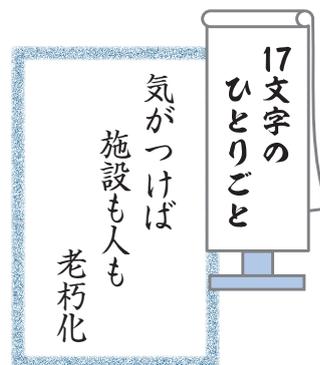
問 町内の水道組合は高齢化に伴う運営の担い手不足や老朽化した施設の維持や修繕に係る費用負担などが重くのしかかっている。大牛内地区では、老朽化した浄水施設により安定した水の確保が困難となり、酪農や住民生活基盤が成り立たない状態となりかねない。町として今後のビジョンと支援策を問う。

留まっている。町は、運営の担い手不足や老朽化といった問題に対し、日常の相談対応、災害時の応急復旧支援、財政支援など、適時適切な支援に努める。老朽化施設の更新について、南大芦飲雑用水施設の浄水場については、田野畑村と協議を重ね、抜本的な施設の更新に向けて検討を重ねており引き続き協議を進める。



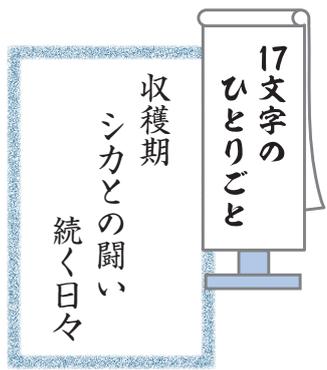
巖地 照夫 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



菊池 孝広 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 野生鳥獣による農作物等への被害防止対策は。

町長 6年度の農作物被害額は約3446万円。捕獲により一定の成果は上がっている。被害額は増加傾向にあるが、関係機関等と連携し被害防止対策に取り組む。

問 農作物の獣害対策は 答 関係機関と連携する

問 地域からの発信や発言ができる体制づくりが必要と考える。行政連絡区の区域を見直すべき。

町長 地域活動に影響が出ていると認識している。自治会の取組を尊重しつつ、あり方を研究する。

問 来年度は町村合併七十周年の大きな節目である、記念事業の取り組みは。

町長 町勢発展に尽力された方々への敬意と感謝を表し、記念の年を祝い、新たな時代を創るスタートにしたい。



防獣・防鳥ネットで農作物を守る



佐藤 安美 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 管理道路の安全対策を

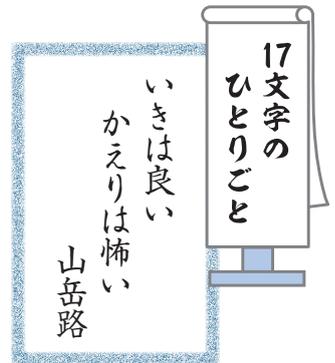
答 危険個所の調査を実施

問 本町は急傾斜地に集落が点在し、急カーブの危険な場所にもかかわらずガードレールの未設置箇所が多数ある。冬期間の通行は危険で事故が危惧される。早急に調査をして整備を図るべき。

町長 ガードレール未設置箇所があることは認識している。危険箇所の調査を実施し、優



冬期間の安全対策早急に



先的に整備すべき道路を計画的に解消するよう取り組む。町民が安全で快適に通行できる改良工事、維持管理に務めていく。

問 本年の猛暑と雨不足が原因で牧草、デントコーンの収量の大幅な減少が懸念される。対応策を講じる考えはないか。

町長 本年の降雨不足による影響からデントコーン、2番牧草等の生育不良を確認している。自然災害であるとの認識で、国県に対する対応策を要望していく。動向を注視しながら支援策を検討する。

問 地理情報システム活用は

答 データ公開の可否を検討

問 有害鳥獣対策、災害対応、関係人口・交流人口の拡大にGIS（地理情報システム）の活用が必要では。

町長 統合型GISのほか、水道、農地管理など個別業務に独自のGISを活用している。個人情報もあり、



泉高生のジオラマ防災教室@小本小 先人からのバトンを後進に繋ぎます。

部署内の利用に限定。案件ごとにデータ公開の可否は検討する。

問 来年度以降、東日本大震災の復興支援員事業の継続は。

町長 岩泉農業振興公社と岩泉フォレストマーケティングで各1名、愛土館で2名が復興支援員として活動。

財政支援は7年度で終了。雇用、事業継続の見込み。

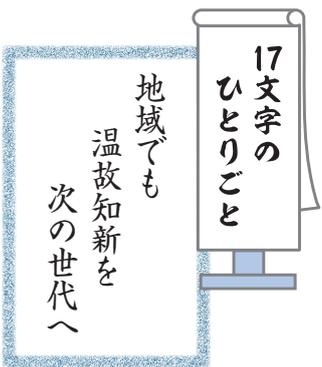
問 現状を打開するためのまちづくりのビジョンは。

町長 次期末来づくりプランの準備に入っています。アンケートなどを分析し、これまでの成果を踏まえ検討する。



千葉 泰彦 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから





畠山 昌典議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 近年、役場内で若年層の中途退職が増加している。若年層職員 の定着率を向上させるため実施している取り組みとキャリアアップ支援、労働環境の改善、人間関係のサポート、待遇の見直しなどについて の具体策が講じられているか。

問 職場環境の充実を 答 環境整備に努める

町長 近年の働き方に対する意識・価値観の変化により「安定」「社会貢献」だけでなく「やりがい」「ワークバランス」の要素がキャリア選択の重要な基準となっている。「メンターメンティー制度」の導入や業務の効率化・DX化をはじめ、働きやすい環境と組織全体で人を育てる環境整備に努める。



猛暑は災害です。避難所設置しています。(小本津波防災センター)

問 異常気象で猛暑の影響が深刻化している。今後の対策は。
町長 関係機関や団体とも連携を図りながら、クーリングシェルターの設置や住民への注意喚起を実施・充実させる。学校の特別教室へのエアコン設置も進め良好な学習環境の整備に努める。

17文字の
ひとりごと

夢もてる
職場環境
待ったなし



専門職の人員不足も課題です

問 一町民として役場を見上げ感じたことは職員 の顔が見えないというこ こと。名前を呼んで聞きたいにも、誰なのか、頼りにしたい名前も顔もわからない。個々にアピールできない。

答 誠意ある心構えで対応
問 一町民として役場を見上げ感じたことは職員 の顔が見えないというこ こと。名前を呼んで聞きたいにも、誰なのか、頼りにしたい名前も顔もわからない。個々にアピールできない。

問 職員個々のアピールを



小松ひとみ議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



17文字の
ひとりごと

もういっば前
顔も名前も
よく見える

女性職員のキャリア形成を支える環境づくりにも注力しており、今後も男女を問わず個々の職員がもてる能力を最大限発揮できるような環境づくりに取り組む。

町長 行政は、町民と直に接しながら業務を進めていくもので信頼関係を築いていくことが必要で、気持ちを適切にくみ取れるコミュニケーション能力の向上が大事である。職員一人ひとりが誠意を持った対応を基本的な心の構えとし、時代に即した最適な組織となるよう、施策や事業を見極めつつ再編に取り組む。



畠山 和英 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 町長3期目の出馬意思は

答 新リーダーにバトン託す

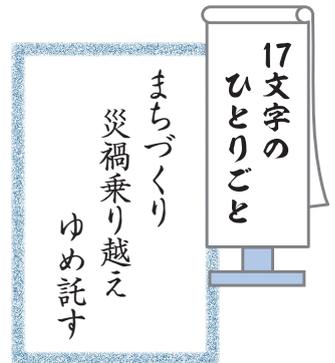
問 中居町長は、災禍からの復旧復興など大きな試練を乗り越え、町民らを牽引してきた。来年度は、町村合併七十周年の節目の年、なお一層邁進し、

飛躍を実現できるまちを共に創り上げたい。町長3期目への出馬を伺う。

町長 私の町長としてスタートは、平成23年



進退について答弁する中居健一町長



の大災害から町の復旧・復興の日々であった。町のため、町民のため、私たちの郷土を取り戻すため、全身全霊でかじ取りした。大きな課題である子育てや健康・医療・介護分野、定住・移住対策など、あらゆる分野にも取り組んだ。私は2期8年間、復旧・復興を強い思いで成し遂げた今、町長としての役目はここで一区切りとする。皆様とともに耕したこの広大な大地は、新たなリーダーにバトンをタッチをする。新たな発想の下で、持続可能なまちづくりに挑戦していただきたい。

問 太陽光発電設備に補助を

答 補助制度活用し検討する



電気作ってます。

問 「地域新電力会社」の成否の力ギは、町民が「地域新電力会社」の電気を使ってくれるところまでもって行けるかどうか。町民も他の電気よりも安く買えるから応援する。名称も町民（ちようみん）を含め、町民と共に進めていく。

町長 町議会や職員を対象とした勉強会を開催している。今後も町

さらに太陽光発電設備の補助制度を創り、町民は制度を利用して太陽光発電を設置し、余剰電力を「地域新電力会社」に売る。こういうスタイルの提案をする。

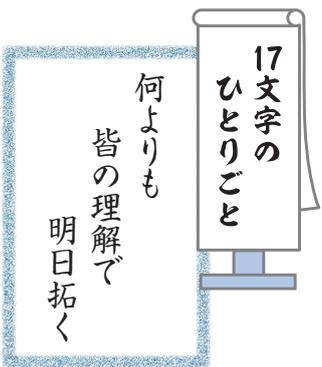
民や町内事業者を対象を拡大した説明会の開催を予定している。今後地域新電力設立準備会を立ち上げ、名称も含め事業を検討していく。太陽光発電設備の補助制度は地域新電力会社を核として、国の補助制度等の活用も視野に検討する。

町長 町議会や職員を対象とした勉強会を開催している。今後も町



林崎 竟次郎 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから





質疑のその後

どうなりました...

あの提言

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問などから一部を取り上げ、その後どうなったか追跡します。

ジビエ

ジビエの取り組みは本格的に事業開始へ

令和5年第4回定例会

問

本町では、地域おこし協力隊にジビエ事業に意欲を持った人がいる。近ごろ社会問題となってい



着々と進むジビエ加工施設整備

る、鳥獣被害の課題を地域の財産に変えていくことで町の活性化に繋がると思われる。ジビエ事業へ積極的に取り組むべきと考えるがどうか。

答

ジビエ事業の取り組みは、補助制度の相談や先進地視察など、情報収集の段階にある。さまざまな情報を共有し、研究していきたい。

令和8年春に本格稼働



地域おこし協力隊の谷田川雅基氏がジビエを活用した会社設立に取り組んでいる。加工施設は7年11月完成予定。施設完成後、8年4月から本格稼働を目指す。
町は、国の制度を活用して谷田川氏の取り組みを支援。地域活性化、地域経済の好循環を目指す。

傍聴者の声

9月定例会の傍聴者は延べ12人でした。傍聴された岩泉の佐々木さんから感想や議会に対する声を聴きました。



佐々木 雅子さん (岩泉)

傍聴は町の動きを知る良い機会です

―傍聴のきっかけは

私は、平成元年から他に用事がなければ傍聴をすることになっています。

町の動きや議員の力量を知る機会になり勉強になります。

―傍聴した感想は

今回思いもかけず町長勇退の弁を聞くこと

になり驚きました。復興の道筋が見えた矢先、残念でなりません。平成11年の町長選を最後に無投票が続いています。次期町長には、豊かな経験と実行力、国や県と渡り合い予算を獲得する胆力のある方に活躍して欲しいです。選挙で、人々を選びたいと思っています。

総務・産業

地域新電力の可能性調査

総務常任委員会（千葉泰彦委員長）及び産業常任委員会（畠山和英委員長）は、合同で町が進める地域新電力の可能性について、町主催の勉強会と先進地視察に積極的に参加し調査しました。

勉強会は、陸前高田しみんエネルギー（株）の皆さんを迎え、参加者から多くの質問が寄せられ、今後の議論の出発点となりました。

18ページでは勉強会の様子を、19ページでは先進地視察の様子をお伝えします。



参加者は真剣に耳を傾けていました。

問 なぜ地域新電力は大手電力会社より安価に電力を提供しながらも経営が成り立つのか。

答 電力市場の価格変動を予測し、市場で安価な電力を調達し、お客様への最適な料金プラン提供によって利益を確保している。得た収益で地域貢献に務めている。

問 市場の価格高騰で淘汰された時期があるようだが、8千人を切っている町で経営が成り立つのか。配当ができるのか。

答 淘汰された地域新電力は2、3社である。陸前高田しみんエネルギー（株）



参加議員からも活発な発言がありました。

答 補助は一切無い。職員の出勤も無い。強いて言えば、公共施設の電力を契約していただいたことが支援と思っている。

岩泉町の地域新電力を盛り上げていくためには何ができるか関心を持って考えて欲しい。地域新電力は可能性があり、今後も意見交換したい。電気を買っていたことが地域新電力で働く人の心強い応援になる。

では、配当を出さずに雇用で地域に還元しようという経営方針で進めている。

問 会社設立にあたり行政の支援や補助、例えば、施設の貸与や物品の購入の補助、職員の出向などはあったか。

設立後に町はどういったことで会社に貢献していけば良いか意見をいただきたい。



陸前高田しみんエネルギー（株）
小出浩平取締役会長

先進地を視察 設立経緯や課題を調査

おきたま新電力株式会社(山形県米沢市)



おきたま新電力株式会社(山形県米沢市)の設立の経緯・目的について学びました。

9月18日から19日にかけて2日間、3つの地域新電力を視察しました。それぞれの会社の設立の経緯や共通する地域貢献に対する思い、課題を確認しました。

山形県米沢市のおきたま新電力株式会社は「地域内再生可能エネルギーを応用した地産地消のまちづくりで、経済効果を住民に生活支援で還元する」(設立趣意書より)を目的に掲げ設立されました。地域内の発電事業者

から既存の再生可能エネルギーに加え、地域資源を活用した畜産バイオガス発電所や小水力発電所などの新たな再生可能エネルギーを開発し安定供給により完全自給自足を目指しています。

一般社団法人東松島みらいとし機構「HOPE」(宮城県東松島市)

宮城県東松島市の一般社団法人東松島みらいとし機構(HOPE)は、ふるさと納税事業をはじめ、パークゴルフ場や市営住宅の指定管理など多岐にわたる事業を積極的に展開しています。

地域内での経済・エネルギーの循環を目指し「地域のためにできること」を実践していきます。



一般社団法人東松島みらいとし機構(HOPE)電気の需給管理の仕組みを学びました。



グリーンスローモビリティ「モビタ」を視察しました。時速20km未満でゆっくり走る、環境にやさしい小型の電気自動車です。



陸前高田しみんエネルギー株式会社

陸前高田しみんエネルギー株式会社は、地域内の経済循環、支合いの社会、豊かな自然環境を未来につなぐことを目的として再生可能エネルギーの導入促進や電力販売の収益を活用した地域づくりに取り組んでいます。

視察では、グリーンスローモビリティ「モビタ」に試乗し、利便性や可能性を確認しました。

モルックで町おこし 町民アイデアを実践

いわいずみモルック
協会では、町民アイ
デア実践支援事業の採
択を受け、モルックを
通じた各地区の幅広
い世代間の交流に取
り組んでいます。

取り組みはSNS等
で町内外に発信し、
より多くの人につな
がりを持ってもらい、
関係人口のさらなる
拡大を目指していま
す。

モルックは、フィン
ランド発祥のスポー
ツで、木の棒「モル
ック」を投げて「スキ
ットル」と呼ばれる
木製のピンを倒し、
先にちようど50点
獲得することを目指
すスポーツです。老
若男女、誰でも気軽
に楽しめるのが特徴
で、近年人気が高ま
っています。



みなさんも体験してみませんか？

議員は何してんのや

議員や議会は何をしているの？という声を聞きます。ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。
(全日程はQRコードで)



議会の動き

7月

- 5日 町内県道整備促進住民総決起大会
- 7日 宮古地区広域市町村議会連携会議
- 8日 岩手県町村議会議長会政務調査会・研修会（雫石町）
- 15日 葛巻町七十周年記念式典

8月

- 1日 戦没者追悼式（町内）
- 6日 町村議会夏季議員大学講座（盛岡市）
- 21日 三県合同中央研修会（東京都）
- 28日 知事を囲む懇談会（盛岡市）

9月

- 1日 議会運営委員会（役場）
岩手県に対する市町村要望（宮古市）
- 4日 第3回定例会一般質問（議会議事堂）
- 5日 一般質問（議会議事堂）
- 8日 条例補正予算審査特別委員会（役場）
- 10日 決算審査特別委員会
（役場：12日まで）

議会を傍聴しませんか

次の定例会は、

- 12月4日(木) 本会議・一般質問
- 5日(金) 一般質問
- 9日(火) 条例補正予算審査 本会議

の予定です。

※都合により変更となる場合があります。



編集後記

▽長きにわたる復旧工事の完了まで、皆さんはどう過ごしてこられたでしょうか。次々と各地で起こる自然災害には心を痛め、被災者をいたわる心遣いを持ち続けてきました。ご尽力いただいた多くの方々への感謝も忘れてはけません。「本当に、助けていただきありがとうございます。ありがとうございました。」壊れたものは直りましたが、これからはより強い思いを持って歩みを進めていきましょう。

広報広聴常任副委員長
小松ひとみ



町HP
議会だより

広報広聴常任委員会

委員長	畠山 昌典
副委員長	小松ひとみ
委員	林崎 寛次郎
	菊池 孝広
	斐地 照夫
	大山 幸真



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙」を使用しています。

